

第 117 期

中間報告書

2023年4月1日から
2023年9月30日まで

 株式会社 中央製作所

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第117期第2四半期累計期間（2023年4月1日から2023年9月30日まで）の営業の概況につきましてご報告申し上げます。

1. 営業の概況

当第2四半期累計期間における我が国経済は、コロナ禍の行動制限の緩和による個人消費の回復や、供給制約の緩和による輸出や生産の増加により経済の回復が進みました。一方でエネルギーコストの高止まり、円安進行による輸入物品の価格上昇により、企業物価・消費者物価ともに上昇いたしました。

当社を取り巻く環境は、国内経済の回復が進む中で、受注増加の兆しが見えるものの、銅材や鋼材、エネルギーコストの高止まりに加え、サプライチェーンの混乱は終息しつつあるものの、半導体など部材の一部については長納期が十分に改善されない状況が見られました。

このような状況の中で、当社は生産面において部材調達に注力するなどして製品納期の厳守に努めるとともにコスト管理の強化を図ってまいりました。販売面では、当社製品の需要が多い市場を中心に新規・更新需要の掘り起こしを行い、受注の確保に努めてまいりました。その結果、当第2四半期累計期間の受注高は3,139百万円、売上高は1,916百万円となりました。損益については、営業利益16百万円、経常利益17百万円、四半期純利益8百万円の計上となりました。

以下主なセグメントの業績についてご説明申し上げます。

(電源機器)

電源機器につきましては、電池業界、自動車関連業界ならびに電子部品業界などを中心に、様々なニーズにお応えすることにより受注確保に取り組んでまいりました。その結果、受注高は819百万円、売上高は512百万円となりました。

今後につきましては、カーボンニュートラルの実現に寄与する高効率電源などの製品の更なる改良を進めるとともに小型電源の拡販に力を入れ、受注・売上の確保に努めてまいります。

(表面処理装置)

表面処理装置につきましては、自動車関連業界、電子部品業界などを中心に、新規・更新需要および既存装置の改修需要の掘り起こしに注力してまいりました。その結果、受注高は1,883百万円、売上高は830百万円となりました。

今後につきましては、引き続き新規・更新提案・IoT技術を活用した予防保全システムであるCCCS-M（当社製品名）の提案および既存装置の改修提案により、受注・売上の確保に努めてまいります。

(電気溶接機)

電気溶接機につきましては、自動車関連業界、鋼製家具業界などを中心に、新規・更新需要の掘り起こしに注力してまいりました。その結果、受注高は294百万円、売上高は331百万円となりました。

今後につきましては、製品のモデルチェンジを積極的に進めるとともに、社内溶接実験設備の積極活用を継続し、様々なニーズにお応えすることで受注・売上の確保に努めてまいります。

2. 今後の見通しについて

今後の見通しにつきましては、人手不足や人件費上昇を背景として、生産性改善に向けた省人化投資が見込まれるほか、デジタル化投資、カーボンニュートラルの実現に向けた設備更新、カントリーリスクを回避する製造業の国内回帰など、国内製造業の設備投資は回復基調にあると判断しております。こうしたニーズに対する的確な提案営業を行い、受注・売上の確保に努めてまいります。

なお、通期の業績予測につきましては、売上高4,000百万円、営業利益65百万円、経常利益65百万円、当期純利益30百万円となる見通しであります。

また、期末の株式配当につきましては、当社を取り巻く経営環境は今後も厳しい状況が続くものと想定されますが、今後の業績の推移、事業環境などを総合的に勘案し当初の予定通り1株当たり20円の配当を予定しております。

株主の皆様におかれましては、引き続き絶大なるご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年12月

代表取締役社長 後 藤 邦 之

四半期貸借対照表

(2023年9月30日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	3,870,921	流動負債	2,431,887
現金及び預金	1,146,529	支払手形及び買掛金	341,962
受取手形及び売掛金	894,869	電子記録債務	513,099
電子記録債権	535,296	短期借入金	740,000
商品及び製品	171,276	未払法人税等	8,046
仕掛品	874,696	契約負債	543,253
原材料及び貯蔵品	188,357	その他	285,525
その他	60,195		
貸倒引当金	△300	固定負債	446,591
		退職給付引当金	216,359
固定資産	993,500	その他	230,232
有形固定資産	289,085	負債合計	2,878,479
無形固定資産	47,035	(純資産の部)	
投資その他の資産	657,379	株主資本	1,820,631
		資本金	503,000
		資本剰余金	225,585
		利益剰余金	1,109,071
		自己株式	△17,025
		評価・換算差額等	165,311
		その他有価証券評価差額金	165,311
		純資産合計	1,985,943
資産合計	4,864,422	負債・純資産合計	4,864,422

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

四半期損益計算書

(2023年4月1日から
2023年9月30日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額	金 額
売 上 高		1,916,978
売 上 原 価		1,493,627
売 上 総 利 益		423,350
販売費及び一般管理費		406,849
営 業 利 益		16,500
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	1	
受 取 配 当 金	2,991	
そ の 他	1,645	4,638
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	3,067	
為 替 差 損	258	
そ の 他	2	3,327
経 常 利 益		17,812
特 別 利 益		
固 定 資 産 売 却 益	3,799	3,799
特 別 損 失		
固 定 資 産 処 分 損	0	0
税 引 前 四 半 期 純 利 益		21,611
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	939	
法 人 税 等 調 整 額	12,248	13,187
四 半 期 純 利 益		8,424

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

役員

(2023年9月30日現在)

代表取締役社長	後藤 邦之
取締役	柘植 良男
取締役	若尾 正一
取締役	丸山 裕海
取締役	岡田 浩義
取締役	加藤 茂
取締役 (常勤監査等委員)	渡邊 良造
取締役 (監査等委員)	入谷 正章
取締役 (監査等委員)	山崎 裕司

- (注) 1. 取締役加藤茂氏、入谷正章氏、及び山崎裕司氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
2. 社外取締役加藤茂氏、入谷正章氏、及び山崎裕司氏は、名古屋証券取引所規則に定める独立役員であります。